

クライアントレポート

レポート日	対象者	作成者
日付 2024年 9月10日	名前 S・K 性別 男 年齢 50代	名前 浅野

障がい名・状態

左橈骨遠位端骨折、プレート固定

期間 2024年 2月～

初見の状態 希望や目標

左前腕筋拘縮。背屈制限。

目標：骨折前の状態まで戻したい

当時のリスク

プレートが入っている為、ストレッチやリリース時に慎重に実施する必要がある。3ヶ月間は負荷が掛けられない。

実地内容

パーソナルストレッチ、リリースによる柔軟性改善（特に手関節掌屈筋）

術後傷のほぐし、術後2～3週はアイソメトリクスと可動域改善動作を行う

2.5週以降軽量ダンベルにて掌屈・背屈トレーニング（リストカールなど）

改善内容・現状の経過報告

受傷から数ヶ月以上経過し、受傷部に負荷が掛けられるようになった。

ベンチプレス 50kgまで回復 細かい手首の動作ができるようになった。

お客様の感想

リハビリを開始した頃と比べると、前腕の柔軟性が向上したり負荷が掛けられるようになった。

9月中旬のプレート除去手術後も引き続きリハビリをして骨折前の状態まで戻したい。

今後の課題

9月中旬にプレート除去手術を行う。

その後のリハビリにて骨折前と同様まで戻す。